

1. わいがこころあきさーよたいえかーでしをあすみとみ  
 2. しいくのちすれこをべろあきさーよたいえかーでしをあすみとみ  
 3. しいくのちすれこをべろあきさーよたいえかーでしをあすみとみ  
 4. しいくのちすれこをべろあきさーよたいえかーでしをあすみとみ

をにめにおなこまもれこたいのろくわいなたずのやよろちまるうさすもーべさべのー

ぎんきにあたみすいだかべなかみてるみはのみにゆねか生たがみくかいーはるにをすひひかべとごみてをと

しりみてねてはをにか捨てたりたえしみまたたーたわまーもずわんわん  
 知かかつ

自分の持っているもので満足しなさい。主は、「わたしは、決してあなたを離れず、あなたを捨てない」と言われた。だから、わたしたちは、はばかりに言おう、「主はわたしの助け主である。わたしには恐れはない。」

5

着<sup>き</sup>るべきもののため  
なれはいか<sup>おも わずろ</sup>で思い煩<sup>わづろ</sup>う  
見よや野<sup>の</sup>の花<sup>はな</sup>を  
神はかくも<sup>よそお</sup>装<sup>よそお</sup>わせぬ！

6

神の義<sup>ぎ</sup>と国<sup>くに</sup>をば  
すべてにまし<sup>もと</sup>求<sup>もと</sup>む者は  
いのちの長<sup>なが</sup>さも  
願<sup>ねが</sup>うごとく神より<sup>う</sup>受けん。

7

われが全<sup>また</sup>く神に  
捧<sup>ささ</sup>げぬことあらば神は  
われよりすべてを  
奪<sup>うば</sup>いわれに問<sup>と</sup>いたまわん。

8

主がすべてわれより  
奪<sup>と</sup>うときは永久<sup>とわ</sup>の命<sup>いのち</sup>  
与<sup>あた</sup>うみことばを  
授<sup>さず</sup>くるべく定<sup>さだ</sup>めたもう。

9

思いわずらいをば  
神にゆだね<sup>やす</sup>安<sup>やす</sup>らいなば  
わが益<sup>えき</sup>のため  
すべて神は計<sup>はか</sup>らいたもう。

10

主<sup>しもべ</sup>の僕<sup>なげ</sup>の嘆<sup>なげ</sup>き  
聞<sup>き</sup>きて神はなぐさめたもう  
苦<sup>くる</sup>しみ極<sup>きわ</sup>まる  
時<sup>とき</sup>に神はあらわれたもう。

11

われを悩<sup>なや</sup>ますもの  
われに欠<sup>か</sup>くるもののあらば  
大<sup>おお</sup>いなる神よ  
なれにそをば<sup>ゆだ</sup>委<sup>ゆだ</sup>ねしめよ。

12

われいかなる時も  
いずこにても主イエス<sup>きみ</sup>君<sup>きみ</sup>よ  
なれに謝<sup>しや</sup>しまつらん  
愛する君わがすべてよ！